

ソフィスト

2017年追試

問3 知恵について述べた次の文章を読み、文章中の **a** ～ **c** に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 **13**

ギリシア哲学では、知恵が徳との関係で多様に論じられている。例えば、ソクラテスは、「人間は万物の尺度である」と主張した **a** のような、知者をひょうぼう標榜するソフィストと、徳について問答することで、真の知恵を求めた。さらに、プラトンは、『国家』において理想的な国家のあり方を問うなかで、魂の徳を論じた。そこでは、知恵が、節制・ **b** ・正義と並ぶ四元徳の一つとして、統治者に不可欠なものであるとされた。アリストテレスもまた **c** において、人間の優れた働きである、真理の観想や推論的な学問と一緒に、知恵を知性的徳の一つに数えた。このように、真の知恵を求める愛としての哲学は、人間の徳の探究としても、議論の深まりをみせたのである。

- ① a プロタゴラス b 勇気 c 『ニコマコス倫理学』
② a プロタゴラス b 勇気 c 『クリトン』
③ a プロタゴラス b 寛容 c 『ニコマコス倫理学』
④ a プロタゴラス b 寛容 c 『クリトン』
⑤ a ゴルギアス b 勇気 c 『ニコマコス倫理学』
⑥ a ゴルギアス b 勇気 c 『クリトン』
⑦ a ゴルギアス b 寛容 c 『ニコマコス倫理学』
⑧ a ゴルギアス b 寛容 c 『クリトン』

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第2問	問3	13	①	3

2007 年追試

問 2 ソフィストに関する記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

6

- ① 謝礼金をとる職業的教師として，青年たちに弁論術や一般教養を教えた。
- ② 社会制度や法律の由来をノモスとピュシスの対比によって説明した。
- ③ 相手との論争に打ち勝つことを目的とし，詭弁を用いるようになった。
- ④ 原子が虚空の中を運動し結合することで万物が形成されると考えた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 2	6	④	2

2004 年追試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選べ。

古代ギリシアには、言葉とその意味との関係は人間の作り出した規約（ノモス）
に基づくという考え方があった。また、このような考え方とは別に、言葉は人間の
思索活動によって明らかにされる事物の と結びついているとも考えられて
いた。

- ① ヒュレー（ヒューレー） ② フュシス（プュシス）
③ パトス ④ ドクサ

問 2 言葉とその意味との関係は人間の作り出した規約（ノモス）に基づくという
考え方をする人々に例えばソフィストたちがいたが、その一人であるプロタゴ
ラスに関する記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ログスを重視し、世界理性に従って、怒りや肉体的欲望などの情念を抑制
する禁欲主義の立場にたって生きることを理想とした。
② 民主政治が墮落しつつあるアテネにおいて、自らの無知を自覚すること、
すなわち、いわゆる「無知の知」を哲学の出発点とした。
③ あらゆる物事の判断基準は、判断する人間それぞれにあるとし、各人の判
断以外に客観的真理が存在することを否定した。
④ 万物の根本原理を「調和」の象徴としての「数」に求め、宗教と学術が一
体となった教団を組織したが、当時の為政者に弾圧された。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 1	1	②	2
第 1 問	問 2	3	③	2